

「7年越しの夢」が実現した 父＝堀内、娘＝幸田の共演

(リゴレット)

(ジルダ役)



演出

田尾下 哲

Tetsu Taoshita

×



リゴレット役

堀内 康雄

Yasuo Horiuchi

×



ジルダ役

幸田 浩子

Hiroko Kouda

1972年兵庫生まれ、横浜育ち。平成21年度五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。ドイツ人演出家ミハエル・ハンペに西洋演劇、演出を学び、2000年から演出家として活動を開始。オペラ以外にも活動の幅を広げており、ジャンルを問わず精力的に活動を展開。

池田(司会)：幸田さんがCDデビューされた7年前にインタビューした時、「次の目標は何ですか?」と尋ねたら「堀内康雄さんの『お父さん』でジルダに挑みたい」と即答され、とても具体的な夢だなあと驚いた記憶があります。

幸田：お待たせしました! 楽譜は、すでにボロボロです。

堀内：光栄です。

池田：幸田さんは二期会、堀内さんは藤原歌劇団と所属を異にします。

堀内：あんまり一緒にやったことないですね。新国立劇場のニューイヤーコンサートくらい?

幸田：あと、びわ湖ホール開館10周年のオペラ・ガラ・コンサート(2008年)も一緒にしましたが、デュエットはありませんでした。とにかく、そばで素晴らしい声が聴こえるだけで、私の発声まで良くなるようで、大変尊敬しております。

堀内：ヴェルディばかり歌っているから、ベルカント発声*のイメージが強いでしょうね。「リゴレット」も今回が7つめのプロダクションに当たり、40代最後の題名役となります。田尾下さん、どんな演出になるの?

田尾下：背中にコブをのせはしますが、無理な姿勢を強いることはないで、ご安心を。アレッサンドロ・チャンマルーギさん(衣裳)とも、正統派で! と話しています。

池田：堀内さんにとって、リゴレットはどのような役ですか?

堀内：若い人向けの「リゴレット」公演では、テノール歌手の「女心の歌」にだけ「ああ知っている、知っている!」と声上がるのは苦々



しいです(笑) 実際にはこのオペラ、声部ごとの役割がはっきり分かれていて、案外バッティングしないのですよ。ソプラノはコロラトゥーラ**だし。バリトンに関しては多少の幅があって、声がマッチョな人は破壊的なリゴレットを造形しがちです。僕はやわらかい声質なので、叙情的な人を手本にした別のアプローチ

で、歌に感情を吹き込みます。当然、父親の情愛に力点が置かれます。

池田：ジルダさんは?

幸田：最後まで清らかな響きとキャラクターを保ちます。とくに激しさは強調されていないものの、芯の強さは愛のために死ぬ自己犠牲の結末まで一貫しています。どこにも出たことがなかったので、初めて会った人への思いを恋だと信じたら最後、ほとんど迷わない程の精神の強さです。

堀内：でも毎回、「なぜ、もっと父親を説得できなかったのだろうか」と、不憫になります。復讐モードに入って以降のリゴレットは、もう娘のことなんか眼中になくなってしまいます。

幸田：娘を思うあまり、マントヴァ公爵との一件で「一番大事なものが壊された」と思いこんでしまったのでしょうか。

田尾下：リゴレット自身、最初の場面からして、人々から相対に嫌われていますから、屈折しています。初演時は社会情勢とかなり深くからんだ作品で、ヴェルディは舞台設定をフランスのパリからイタリアへ移せという当局の干渉に当初、かなり激しく抵抗したそうです。今はむしろ普通の真実の方に目がいくので、劇としてコンパクトにまとめ、エンターテインメントとして素直にお楽しみいただければと思います。

池田：びわ湖ホールには、ヴェルディのオペラ上演の良い業績があります。

堀内：初代芸術監督でいらした若杉弘先生が指揮された初期オペラの日本初演シリーズは圧巻でした。びわ湖は、日本でのヴェルディの聖地になりました。

田尾下：私もそのシリーズは初年度から2002年まで通っていまし

た。なかでも、堀内さんが出演した「アッティラ」(2001年)は、堀内さんを観るために足を運びました。

堀内：イタリアでも地方の劇場だと、まだ「アッティラ」なんか上演しなかった時代です。若杉先生の初演シリーズには、都合3作出演しました。沼尻さんが芸術監督を引き継がれて以降は「アイダ」(2011年)、そして今回の「リゴレット」と、メジャーな作品が続いています。すでにヴェルディ上演の良い土台があればこそ、名作オペラでも質の高い上演が可能なのです。

*「美しい歌」「美しい歌唱」を意味する「ベルカント」。ベルカントオペラを歌うために生み出された発声法。 **速いフレーズのなかに、高音で裝飾音やトリルを多用し、軽快で柔軟な声のソプラノ。



「突き抜けた作品」を支える「内」と「外」の世界を視覚化 ～演出家・田尾下哲に聞く～

演出家、田尾下哲の「正体」はつかみづらい。特定の団体に属さず、仕事場は国内外を問わない。オペラからミュージカル、自ら台本も書くストレートプレイまでジャンルは多彩。時代を動かす「読み替え」演出もすれば、伝統の舞台もきっちり再現する。「形ではなく、人の心の機微を視覚化するのが仕事」と心得る田尾下の、「リゴレット」へのレシピはいかに?

—2005年に「運命の力」を演出して以来、久しぶりのヴェルディですね。

はい。それ以前の02年に手がけた「リゴレット」が、演出家として一本立ちして最初の大きな公演でした。ヴェルディのオペラを観た原作者のヴィクトル・ユゴーが「すごい作品だ」と感心したほど、「リゴレット」には多くの内容が詰まり、音楽劇の最高峰を極めています。突き抜けた作品だと思いますね。

—「突き抜けた作品」と指摘されましたが、どの角度から再挑戦しますか?

マントヴァ公爵、リゴレット、殺し屋ス・パラフチーレそれぞれに「部屋と周囲」、つまり「内」と「外」の二重構造があり、壁によって隔てられた二つの世界に注目しました。舞台裏から聴こえるバンド(別働隊の楽器群)や雷鳴など、ヴェルディの音楽にも距離感、空間といったものが適確に表現されています。例えば大詰め、嵐の場面の合唱も今回は舞台に出て、リゴレットをつけてきた廷臣たちの怨念のように見せようと考えています。

—読み替え演出*ですか?

いえ、ピリオド(作曲当時の様式)です。衣裳をお願いするイタリア人アーティスト、チャンマルーギさんと「時代に忠実で、古典的な写実衣裳で行こう」と決めました。よってセツも、音楽に書き込まれた物語をとにかくストレートに表現します。

—リゴレットの身体的特徴や職種の表現が、現代では難しそうですが…廷臣たちがリゴレットを馬鹿にするポイントが身体的特徴なので置き換えは不可能ですが、チャンマルーギさんと相談して、あからさまな演出はせず、衣裳で体に膨らみを持たせ、腰を少しかがめる程度にとどめます。あと身代わりで殺し屋の手にかかった瀕死のジルダが入った砂袋をゴロゴロ転がすのも、好きではありません。今回は砂袋にジルダ役のソプラノ歌手ではなくダミーを入れ、まず水の中へ落とします。次いで本物が水中からヨロ

ヨロ現れ、リゴレットに助け上げられるようにして美しさを保ちます。

—指揮者の沼尻竜典さん、歌手たちについて。

沼尻さんと初めて、がっちり組めるのは幸いです。新国立劇場をはじめ、演出助手の立場で一緒にさせていただいた当時から、淡々としながら実に情熱的なマエストロだと尊敬していました。沼尻さんが厳選した歌手たちも素晴らしい顔ぶれ。この20年、日本のオペラ歌手の水準は著しく向上したと思います。

—ありがとうございました。取材・文/池田卓夫(音楽ジャーナリスト)

★読み替えとは、音楽と歌詞はそのままで、原作のストーリーを現代風にし、演出家の発想で違う物語にすること。

次号、湖響No.61は10月20日発行予定。お楽しみに!

「びわ湖ホール友の会」会員募集中

一般会員

お問い合わせ びわ湖ホールチケットセンター
TEL.077-523-7136

チケットの優先・優待販売や無料郵送、公演情報のご案内、館内レストランサービス、提携ホテルの利用割引などの特典・サービスをご提供いたします。

【一般会員】年会費2,500円(税込)
【クレジット一般会員】年会費2,379円(クレジットカード年会費1,350円含・税込)

サポート会員

お問い合わせ びわ湖ホールチケットセンター
TEL.077-523-7136

一般会員のサービスに加え、主催公演へのご招待やオペラ公演のゲネプロにご招待など、お得にお楽しみいただけます。

年会費 一口につき10,000円(税込)

滋賀県立芸術劇場
びわ湖ホール
湖響 No.60 平成26年8月20日発行
発行・編集＝公益財団法人 びわ湖ホール
〒520-0806 滋賀県大津市打出浜15番1号
TEL.077-523-7133 http://www.biwako-hall.or.jp

〈アクセス〉

大阪から新快速で約40分、京都から約10分

●JR琵琶湖線(東海道本線)「大津」駅より徒歩約20分、またはバス約7分(びわ湖ホール下車)

●JR琵琶湖線(東海道本線)「膳所」駅より徒歩約15分、または京阪電車のりかえ「石場」駅より徒歩約3分

《駐車場のご案内》有料849台 7:00～23:00 料金:4時間まで毎時210円

特別会員 お問い合わせ 広報マーケティング部 **TEL.077-523-7140**

びわ湖ホールの舞台芸術に関する諸事業に賛同し、これを支援してくださる方々です。

主催公演へのご招待 **チケット優先予約** **ゲネプロにご招待**

◎メインロビーへの企業名掲示 ◎びわ湖ホールHP、「湖響」への企業名等掲載およびリンク敷設
◎びわ湖大花火大会観覧ご招待など ※サポート会員の特典もすべてご利用いただけます。【詳しくはホームページをご覧ください。】

《特別会員》のみなさま

株式会社秋村組/アサヒグループホールディングス株式会社/綾羽株式会社/新木産業株式会社/一國テクノス株式会社/上原恵美/株式会社栄光社/SMBC日興証券株式会社 大津支店/株式会社エスサーフ/NTT西日本 滋賀支店/大津板紙株式会社/大津プリンスホテル/オブテックス株式会社/オリックス・ファミリーーズ株式会社 滋賀支店/株式会社関西アーバン銀行/木村水産株式会社/京セラ株式会社/株式会社京都銀行/京都信用金庫 滋賀本部/学校法人京都成安学園 成安造形大学/京都橋大学/京都中央信用金庫/株式会社京都西川/株式会社京都ホテル/株式会社キョー/京滋舞台芸術事業協同組合/甲賀高分子株式会社/株式会社コングレ/株式会社佐藤総合計画 関西事務所/三精テクノジーズ株式会社/株式会社しがぎん経済文化センター/株式会社滋賀銀行/滋賀近交運輸倉庫株式会社/滋賀県産業振興協同組合/滋賀県信用金庫協会/株式会社滋賀富士通ソフトウェア/滋賀ヤサカ自動車株式会社/株式会社自然総研/株式会社JEUJIA/公益財団法人秀明文化財団/株式会社昭和/ベル製作所/瀬田医院/総合警備保障株式会社 滋賀支社/滋賀支店/大和証券株式会社 京都支店/高田祐一/たねやグループ/ちばレディーズクリニック/株式会社DGコミュニケーションズ/thymos/株式会社天下一/品/東京海上日動火災保険株式会社 滋賀支店/株式会社西浦商店/日新製菓株式会社/日新食品工業株式会社/株式会社ニッセイコム/日本観光開発株式会社/日本興亜損害保険株式会社 滋賀支店/日本生命保険相互会社/日本ソフト開発株式会社/日本メーテックス株式会社/日本メーテックス株式会社 大津支店/野村證券株式会社 大津支店/長谷川公認会計士事務所/バサノニックESエンジェリング株式会社 近畿支店/株式会社バルコ大津店/公益財団法人ハルハ文化振興財団/BSCウォータースポーツセンター/株式会社日立建機ティセラ/琵琶湖汽船株式会社/びわ湖放送株式会社/株式会社琵琶湖ホテル/株式会社平和堂/ホテルトラ大津/ホテルブルレーク大津/株式会社松村電機製作所 関西支店/株式会社みずほ銀行/三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社/明治安田生命保険相互会社 滋賀支店/ヤマハサウンドシステム株式会社 大阪営業所/ロマン楽器株式会社/株式会社ワコール

(五十音順・敬称略)一部非掲載 (2014年7月31日現在)